

琉球大学学術リポジトリ

沖縄及び海外の武道コミュニティにおける沖縄語の復活

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学 公開日: 2017-05-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Kathrine, May Samantha, キャサリン, メイ サマンサ メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/30816

琉球大学大学院
人文社会科学研究所委員会 殿

博士論文審査委員会

主査 石原 昌英 印

副査 喜納 育江 印

副査 宮平 勝行 印

学位（博士）論文審査の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、学位論文の審査を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号	128091B	学生氏名	MAY SAMANTHA KATHRINE
人文社会科学研究所 比較地域文化専攻		主指導教員	石原昌英
		副指導教員	喜納育江・宮平勝行
成績評価	学位論文	合格	不合格
論文題目	Uchinaaguchi Language Reclamation in the Martial Arts Community in Okinawa and Abroad		
審査要旨	<p>本博士論文は、世界的な「実践のコミュニティ」(Community of Practice)としての沖縄空手・古武道道場でのウチナーグチの再生に関する研究である。</p> <p>本研究は、まず、言語習得や言語復興に関する先行研究を分析し、空手・古武道道場というごく局所的な言語使用領域において、そのような理論がいかに適用されるのかを論じた。次に、アンケート調査・インタビュー調査を行い、指導者や生徒が空手・古武道発祥の地である沖縄の言語や文化に対して高い関心があることを明らかにした。さらに、自ら開発したワードシートの教材について、沖縄および海外の指導者にインタビュー調査を行い、空手・古武道の指導にウチナーグチを使用することの可能性を論じた。</p> <p>本研究は、沖縄県において日常的にウチナーグチが使用されるという言語復興ではなく、国際的な「実践のコミュニティ」においてウチナーグチを使用することの可能性を論じたもので、その方法は海外の沖縄ディアスポラの唄・三線や琉球舞踊という文化領域での「実践のコミュニティ」におけるウチナーグチ使用の研究にも援用できるものである。</p> <p>本審査会は、本博士論文が博士の学位論文に値すると判断する。</p>		

琉球大学大学院
人文社会科学研究所委員会 殿

博士論文審査委員会

主査 石原 昌英 印

副査 喜納 育江 印

副査 宮平 勝行 印

最終試験の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、最終試験を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号	128091B	学生氏名	MAY SAMANTHA KATHRINE
人文社会科学研究所 比較地域文化専攻		主指導教員	
		副指導教員	
成績評価	最終試験	合格	不合格
結果要旨	<p>副査・喜納育江の総括のもとで、申請のあった博士論文の内容とそれに関連する授業科目についての口頭による最終試験を行なった。</p> <p>本論文の題目は、『Uchinaaguchi Language Reclamation in the Martial Arts Community in Okinawa and Abroad』である。以下の4点を軸に試験を行なった。</p> <p>まず、口頭試問（面接審査）での関連質問を行ない、本博士論文が学位の水準に達していることを確認した。次に、本博士論文に関する基礎的な専門知識や論文の研究上の位置づけを問い、研究上の貢献のあったことを確認した。そして、本博士論文で取り上げた研究分野に関連する授業科目「言語政策特論・演習」「比較地域文化特別研究」「比較地域文化総合演習」などの履修によって得た視点、そして、国際学会での研究発表や同学会の学術雑誌などへの論文投稿、地方学会での研究発表や論文投稿も積極的に行なっていること等々、学位にふさわしい研究能力とその学識を有していることを確認した。</p> <p>以上の点から、本審査委員会は当該学生が学位の水準に達していると認め、最終試験に合格したと判断する。</p>		